



学校だより

12月号

横浜市立大道小学校

平成29年11月30日

学校ホームページ：[横浜市立大道小学校](#)

検索

校長 富岡 正雄

「確かな学力」についての本校の取組

本校では、子どもたちが身に付けるべき「確かな学力」としての具体的な取組について、【中期学校経営方針】、【学力向上アクションプラン】という形で『学校教育説明会』や『本校ホームページ』等でお知らせをしてきました。【中期学校経営方針】の中では、次のように示しています。ポイントは、「基礎・基本の定着」と「学び合い」です。

基礎・基本の定着に重点を置き、「学び合い」を重視した活動を取り入れ、主体的な問題解決の中で、思考力やコミュニケーション能力の育成を目指します。

「ラーニング・ピラミッド」という考え方

アメリカ国立訓練研究所の研究によって明らかにされた理論で、概要は、次の通りです。

能動的になればなるほど、学習の定着率が高くなる。逆をいうと、受動的になればなるほど学習の定着率は低くなる。学習したことが身に付くためには、どんな学びの仕方が有効か？という「学習の定着率を上げるため」の学びの仕方の考え方とされているものです。

結果は、次の通りです。

数字が高いほど、学習した内容の定着率が高くなるということです。

・講義を受ける（話を聞く）	5%
・リーディング（読む）	10%
・オーディオビジュアル（視聴する）	20%
・実演を見る	30%
・グループディスカッションをする	50%
・実際にやってみる	75%
・他者に教える	90%

学習定着率を表すラーニング・ピラミッド
（授業で学んだ内容を半年後にどれだけ覚えていたかを授業形態で比較）



つまり、学習したことが身に付くには、

「グループディスカッション」「実際に体験」「他者に教える」のように、**自分以外の人の学び合いが重要な視点だということ**です。本校での具体的な場面をいくつか紹介します。

- 大道ふれあい学習発表会に向けた準備の中で、来てくださった方たちに、分かりやすく伝えるにはどうしたらいいか？についてお互いの意見を交流し、考えを深める。
- 塩づくりの過程で、実際に塩を作った活動を通して、さらに高い課題解決に向けて、グループディスカッションを繰り返したり、他者に教えたりしながら学びを深める。
- マット・跳び箱・鉄棒の授業で、タブレットを活用したり、グループで教え合ったりしながら学びを深める。

「基礎・基本の定着」と「学び合い」が少しでも成果として表れるように、日々、工夫した授業を進めていきます。今後も本校の教育活動に御理解・御協力をお願いします。

<参考資料> ・「教師の学びを子どもの未来へ」 新潟県立教育センター
・「キャリア教育通信第5号」 高知県須崎市教育委員会 他